YAMATO Leaf Archive

2024年8月

葉画家・群馬直美の「葉っぱアーカイブ」Vol.32

《葉画家・群馬直美がこれまでに描いた絵とエッセイをお楽しみください》

絵と文 群馬直美

神様の仕事《コガマの葉っぱ》

明け方近くまで物凄い雷雨だったというけれど、新前橋の駅に降り立ったときには雨はやみ、
群青色に灰色を混ぜ合わせた見たこともない色の空が重く広がっていた。
白雲が湧き立ち、北から南へどんどん流されていく。
なんだか、地球はじまりの日みたいだ。
そんな怪しい夏の日の朝、カルガモの池の辺りでコガマと出会った。
赤錆色（アカサビイロ）のきりたんぽみたいな穂と線状の葉っぱがイカしている。
ガマの穂は、日本神話『因幡の白兎』にも出てくる。
サメに毛をむしられた兎の傷を癒すベッドになったやさしい穂。
その花粉には、止血剤などの薬用があるという。
「葉っぱも穂も丈夫そうだし、安心安心…」
早速、立川のアトリエで制作をはじめる。
長さ1メートル50センチのコガマを白いパネルの前に立てると、「うわぁ、凄い存在感！」
ところが、安心と思ったコガマの葉っぱは、
下色を1色置いた段階で1本ずつしなだれて黄色くなって枯れてしまった。
「どうしよう。葉っぱが描けない！」
葉を光に透かすとまっすぐ走る葉脈の筋が見える。
「ひぃ、ふぅ、みぃ…」と数えるが、葉脈の本数がどうしても読みとれない。
ガマの葉について調べる。葉っぱの付け根は茎を抱き、カマボコ型に膨らんでいるという。
ハサミで切ってみると、本当だ！膨らんだ葉っぱの断面が葉脈で仕切られ、
細長いお部屋に分かれている。仕切りの数をかぞえると、11本。
「よし！幅1センチの葉っぱに兎に角、筋を引こう」
こうして葉画家人生はじめて〈見ないで描く〉創作の17日間がはじまった。
サメの背をつたわり海を渡ろうとした兎は、
嬉しさのあまり「やーい、だまされたー」とサメに言い、皮を剥がされた。
そして、八十神（ヤソガミ）たちに傷を治す方法を嘘ぶかれ、さらに悪化。
痛さでシクシク泣いていると、大国主命（オオクニヌシノミコト）に
ガマの穂ベッドを教わり傷が癒え、じつは兎も神の使い…。
という日本神話のとてつもない大らかさに、「えっ、何でもありっていうこと？結局みんな神様？」
どうぞ皆さま、本物のコガマの葉っぱをじっくり見てみてください。
――これが、コガマの葉っぱを描けなかった私ができる唯一の〈神様の仕事〉。

〈ヤマトビオトープ園の葉っぱたちvol.8の絵と蔵出しエッセイ〉

《表紙の絵》コガマ

「おいしそうなフランクフルトソーセージ！」

・ヤマトビオトープ園にて2016.8.2採集
（作品の完成日は 2016年8月26日）
・紙（アルシュ極細）/テンペラ
・size:760mm×561mm　　©Naomi Gumma

群馬直美 GUMMA NAOMI プロフィール

高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科卒業。在学中に新緑の美しさ、その生命力に深く癒された経験から、“葉っぱ”をテーマとする創作活動に入る。「葉っぱの精神ーこの世の中の一つ一つのものは全て同じ価値があり光り輝く存在である」に則り、1991年テンペラで克明に描く現在の作風に至る。著書に『言の葉　葉っぱ暦』『群馬直美の木の葉と木の実の美術館』『葉っぱ描命』他。東京都立川市在住。　https://www.wood.jp/konoha/

建設プロダクト ヤマト

発行 株式会社ヤマト 総務部広報室 《2024年8月発行》
〒371-0844 群馬県前橋市古市町118　TEL:027-290-1800(代)　FAX:027-290-1896　ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp